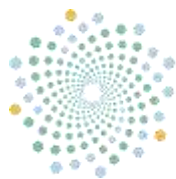


エコフレンドリーオフィスプラン通信



ECO FRIENDLY TOWN
YAMAGUCHI CITY

第6号 発行日:令和4年7月26日

発行元:環境政策課

責任者:課長 江村 俊彰

山口市役所の温室効果ガス排出抑制に係る対策を実行するための計画である「第二次山口市エコフレンドリーオフィスプラン」の開始年度に当たる令和3年度については、皆様のご協力のもと、温室効果ガス排出量の削減目標を達成することができました。



令和3年度の実績結果

令和3年度の実績目標	実績結果
平成25年度比で23%以上	25.5%削減

令和4年度マネジメントレビュー（環境管理統括者からの指示及び対応）

本市においては、昨年12月に「山口市ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民・事業者と市が一体となって地域脱炭素の取組を進めることとしています。山口市役所としても、市内の一事業者として、温室効果ガスの排出削減に率先して取り組む必要があります。

こうした状況を踏まえ、令和4年7月11日開催の「令和4年度山口市環境管理委員会」において、環境管理統括者(市長)からマネジメントレビュー(市長からのプラン見直し指示)が示されました。

1 環境方針について

第二次山口市エコフレンドリーオフィスプランで定めた環境方針を継続すること。なお、環境にかかる社会情勢の変化を踏まえて、現行の方針については、令和4年度に予定している同プランの改定に合わせて、見直しを行うこと。

2 取組目標について

2050年ゼロカーボンシティ実現を見据え、第二次エコフレンドリーオフィスプランの削減目標達成に向け、具体的な取組である「施設・設備対策」、「運用対策」、「エコオフィスの推進」などの共通の環境配慮項目に取り組むとともに、各所属において適切な重点取組項目を設定し、積極的な推進を図ること。

3 プランに関するその他の要素について

本年度は国から7年ぶりに全国規模で夏の節電要請がなされたことにより、本市でも電力需要の多い7月～9月まで積極的に節電に取り組むため、空調機器の適温管理など第二次エコフレンドリーオフィスプランにおける取組を徹底し、ピークカット要請時には的確な対応を行うこと。

マネジメントレビューへの対応として、以下の点について取組を進めましょう。

取組内容

- 1 職場研修等を通じて環境方針や、各所属で独自に設定した目標を再確認するなど、改めて職場内の周知徹底を図りましょう。また、職員一人ひとりの環境意識の向上が図れるよう各所属における効果的な取組を実施しましょう。
- 2 市施設への再生可能エネルギー設備や蓄電池、省エネ設備・機器の導入に努めましょう。
- 3 今夏の節電について、新型コロナウイルス感染症や熱中症への対策を十分留意しながら、積極的に取り組みましょう。
 - 指定管理者や委託業者等に対する施設等の節電への協力依頼
 - エアコンの使用管理徹底(室内温度を28℃程度とする)
 - クールビズ(5月1日～10月31日)
 - 省エネ型照明への取り替え、不要な照明の間引き
 - 電力需給ひっ迫警報発令時に備え、業務等に支障のない範囲での電力カットが可能な電化製品や照明等の洗い出し、発令時におけるピークカット要請への的確な対応 等



環境にかしこい選択



COOL CHOICE 「選ぶバー」
キャラクター

COOL CHOICEとは、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながる、あらゆる賢い選択をしていこうという取組です。省エネ機器に買い替える、エコドライブする、ワンウェイプラスチックをなくすなど、身近な生活の中はもちろん、職場でも、未来のために今選択できるアクションを選びましょう。



Facebook



Instagram

環境政策課のSNSもチェックしてみてください。